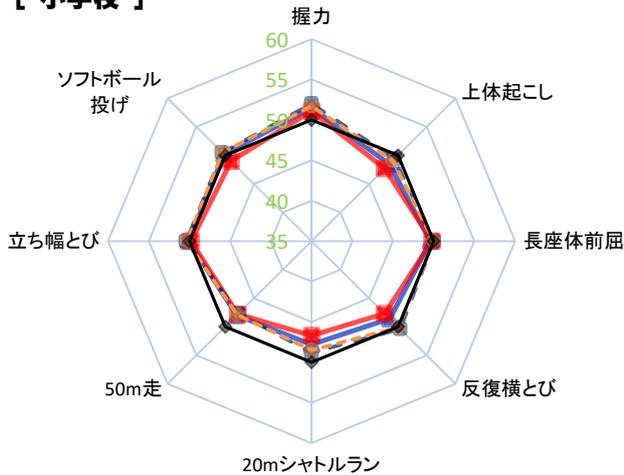


■ 札幌市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校198校・児童数14,258名、中学校100校・生徒数12,722名)

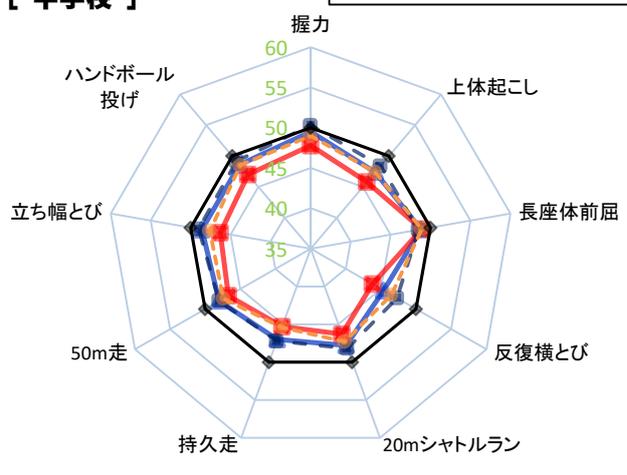
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】



【中学校】

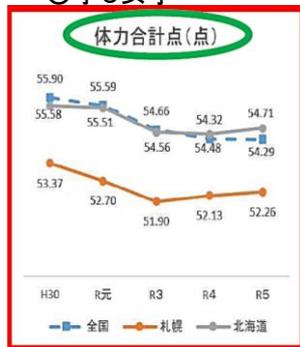


【実技の状況(体力合計点)の経年変化】

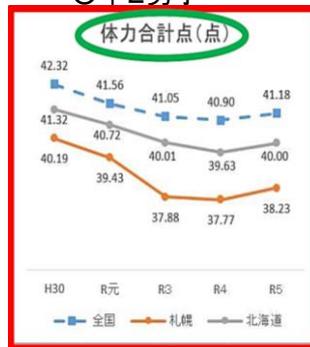
○小5男子



○小5女子



○中2男子



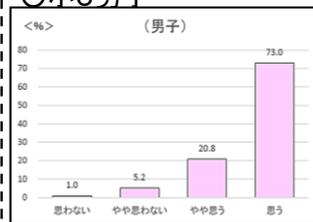
○中2女子



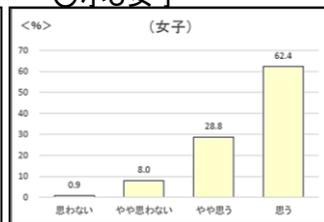
【「実技に関する調査」と「児童生徒質問紙調査」のクロス集計】

運動やスポーツが好き・やや好き×中学校で授業以外でも自主的に運動したい

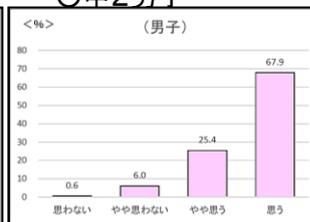
○小5男子



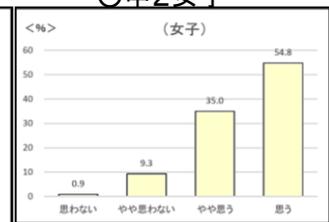
○小5女子



○中2男子



○中2女子



・小中学校男女ともに、ほとんどの種目で全国平均に届いていない状況であり、特に中学校の女子は全国平均との差が顕著である。

・体力合計点の改善傾向は、コロナ禍の影響による行動制限が徐々に緩和され、児童生徒の運動の実施がもとに戻ってきたことで、体育・保健体育の授業の中での運動量が増加したことが要因であると推察される。

・体育・保健体育の授業に対する意識においては、「運動やスポーツが好き」と考えている児童生徒ほど、体力合計点が高く1週間の総運動時間も高い傾向にあり、「卒業しても運動したい」には強い相関があったことから、生涯に渡る運動習慣の形成に向けて大切な指標である。

【札幌市の体力向上策】

〈さっぽろっ子「健やかな体」の育成プランに基づく取組の推進〉

○体育・保健体育等の授業の充実

運動の楽しさに触れられる「課題探究的な学習」を推進する。

◎授業以外で子どもの運動機会を創出する取組

三間(仲間・時間・空間)の創出により、子どもの運動機会の充実を図る取組を推進する。

子どもによる運動機会を創出する取組の立案・実現

○子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実

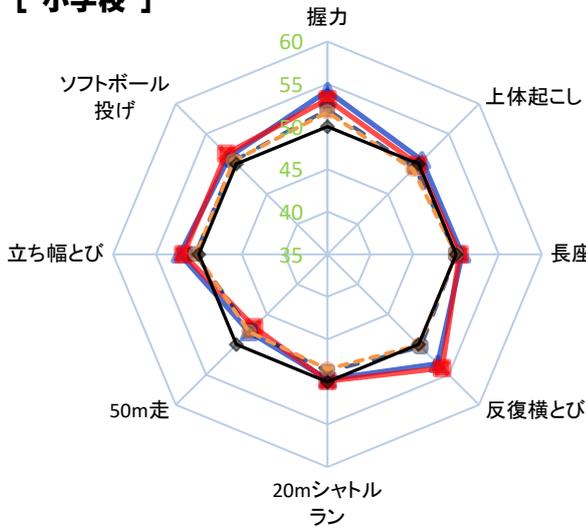
健康の保持増進の大切さを実感した上で、運動習慣へ関連付けるなど、運動機会の形成へとつなげる取組を推進する。

■ 江別市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校17校・児童数934名、中学校8校・生徒数825名)

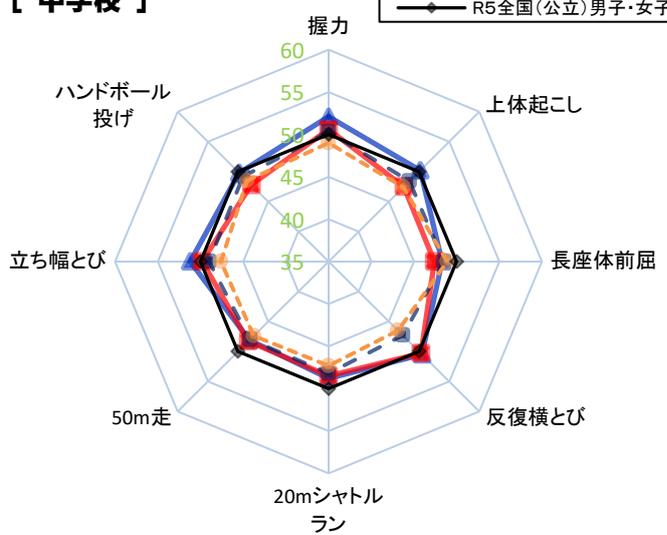
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

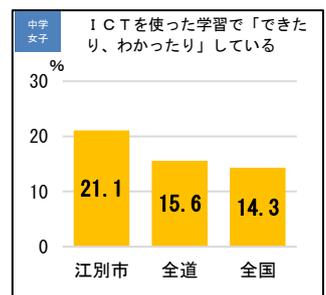
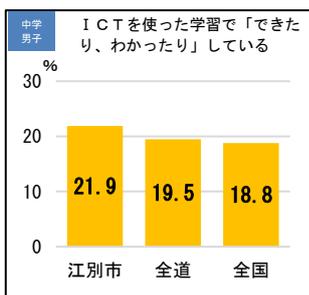
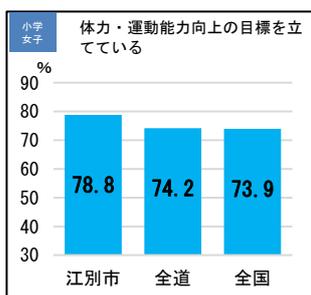
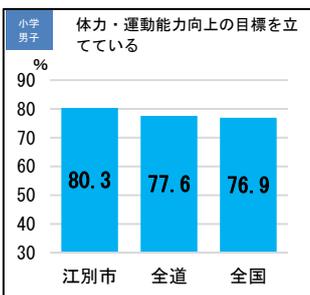
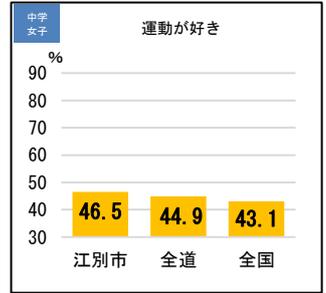
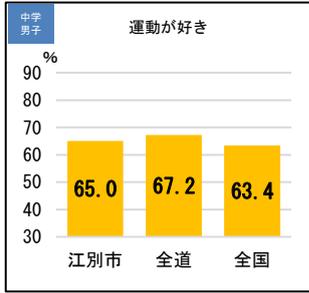
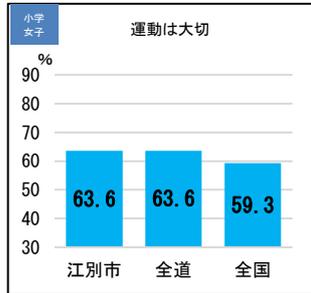
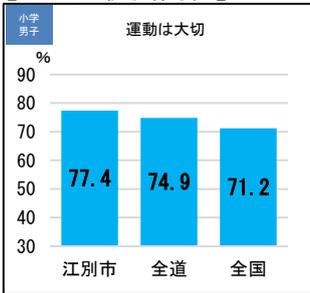
【小学校】



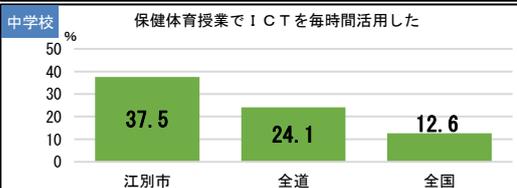
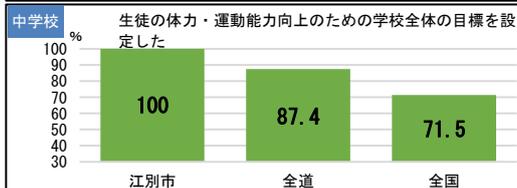
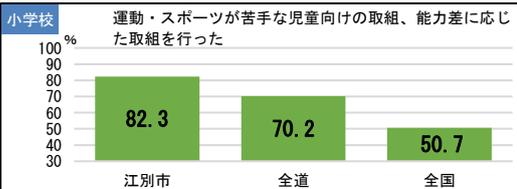
【中学校】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を行うとともに、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、「運動は大切」「体力・運動能力向上の目標を立てている」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
各学校において、生徒の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定するとともに、ICTを毎時間活用したことにより、「運動が好き」「ICTを使った学習でできたり、わかったりする」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【江別市の体力向上策】

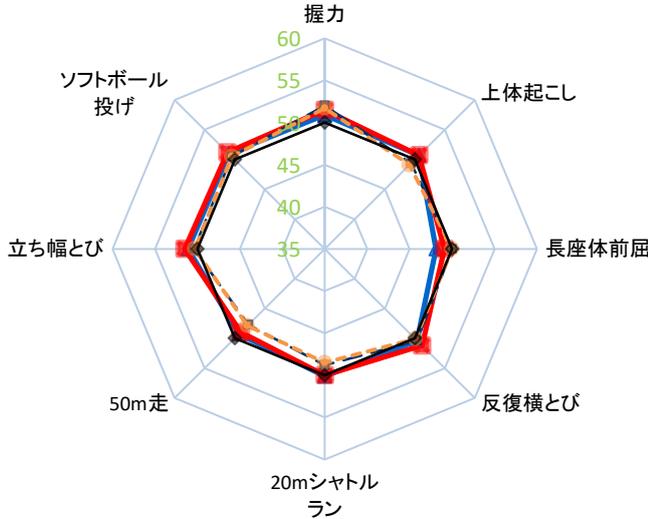
- ◎ 中学校区単位での乗り入れ授業など、小中一貫教育に基づいた体力改善プランの実施
- ◎ 「江別市教育情報化ガイドライン」に基づくICTの効果的な活用などによる授業改善の推進
- ◎ 大学との連携による「走り方教室」の実施と、地域人材の活用

■ 千歳市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校18校・児童数835名、中学校9校・生徒数787名)

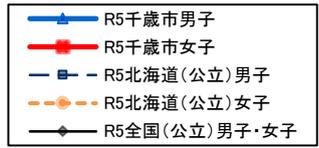
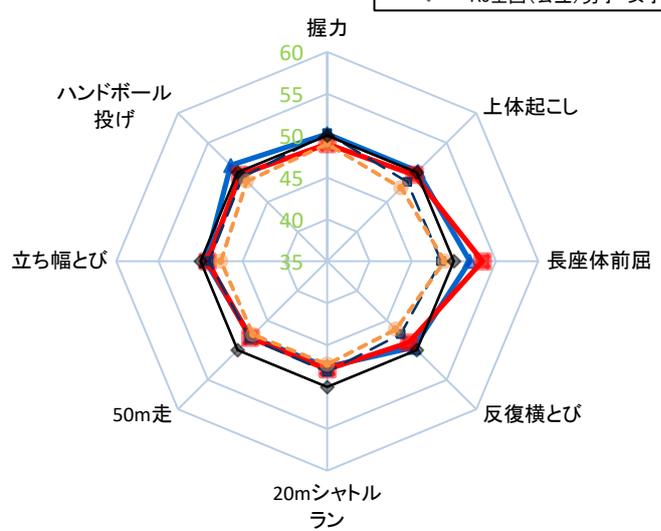
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

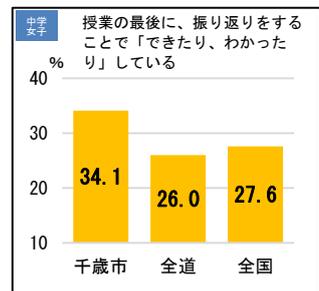
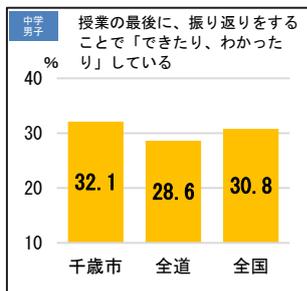
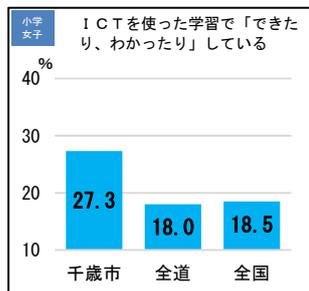
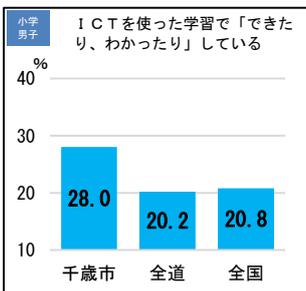
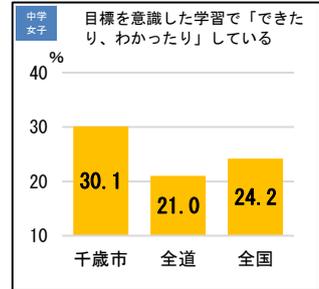
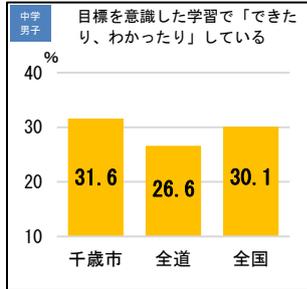
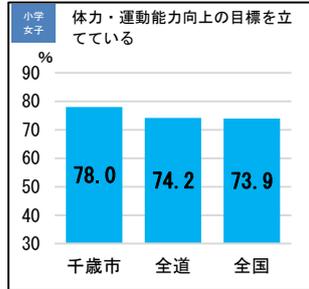
【小学校】



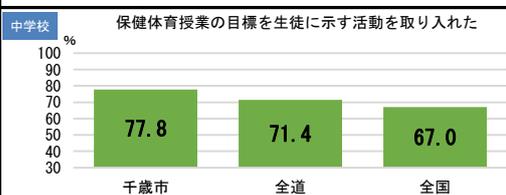
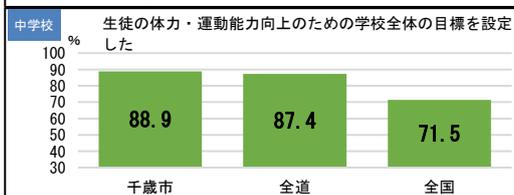
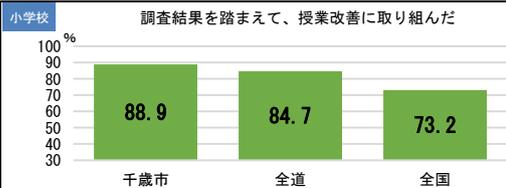
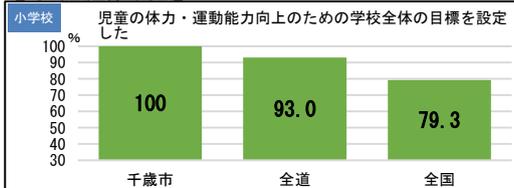
【中学校】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、児童の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定するとともに、調査結果を踏まえて、授業改善に取り組んだことにより、「体力・運動能力向上の目標を立てている」「ICTを使った学習でできたり、わかったりしている」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

<中学校>  
各学校において、生徒の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定するとともに、保健体育授業の目標を生徒に示す活動を取り入れたことにより、「目標を意識した学習でできたり、わかったりしている」「授業の最後に、振り返りをする事でできたり、わかったりしている」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【千歳市の体力向上策】

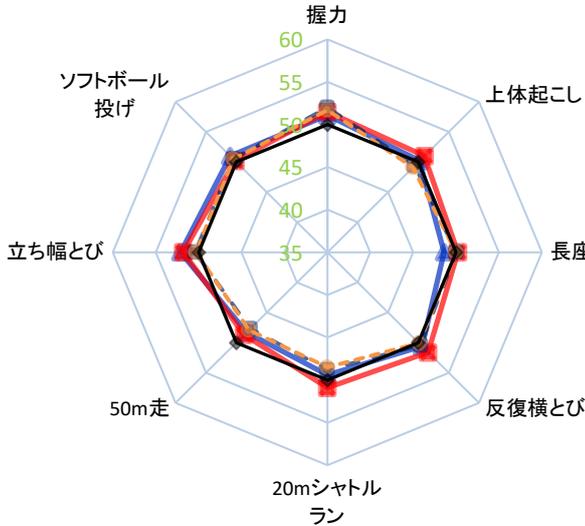
- ◎ 「新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業」の成果の普及
- ◎ 創意工夫を生かした「1校1実践」による体力の向上、運動習慣の定着及び生活習慣の改善

■ 恵庭市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校8校・児童数569名、中学校5校・生徒数570名)

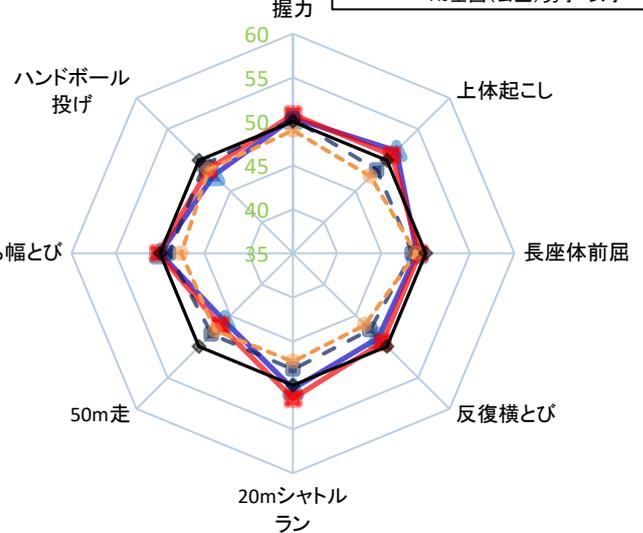
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

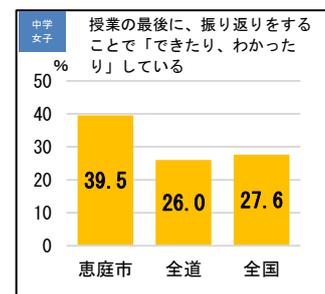
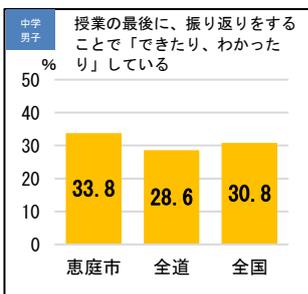
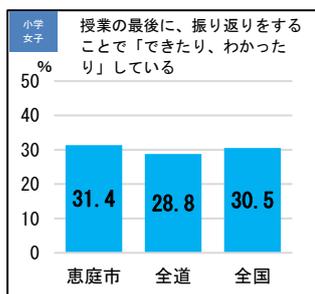
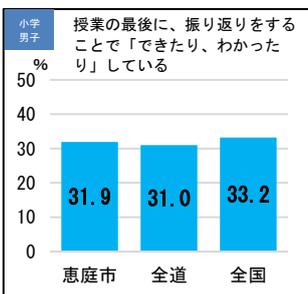
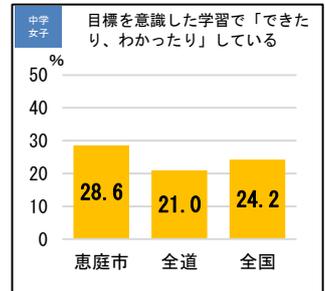
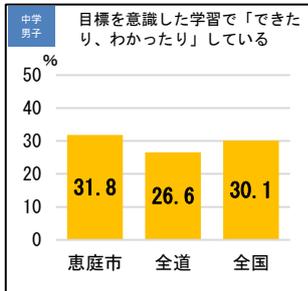
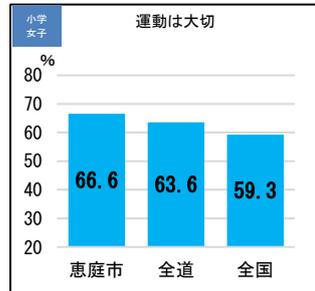
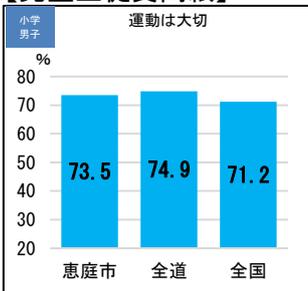
【小学校】



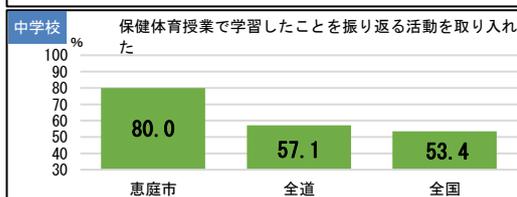
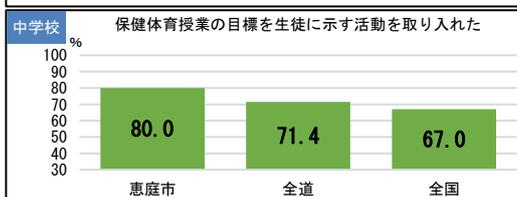
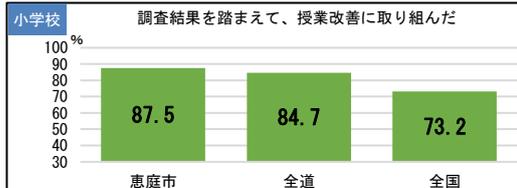
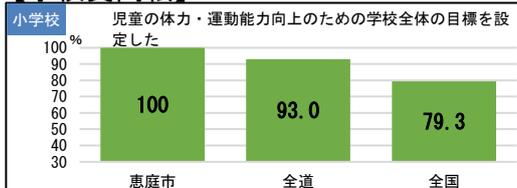
【中学校】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、児童の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定するとともに、調査結果を踏まえて、授業改善に取り組んだことにより、「運動は大切」と回答した児童の割合が全国を上回るとともに、「授業の最後に、振り返りをする事でできたり、わかったりしている」と回答した女子児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

<中学校>  
各学校において、保健体育授業の目標を生徒に示す活動や学習したことを振り返る活動を取り入れるなど、授業改善に取り組んだことにより、「目標を意識した学習でできたり、わかったりする」「授業の最後に、振り返りをする事でできたり、わかったりしている」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【恵庭市の体力向上策】

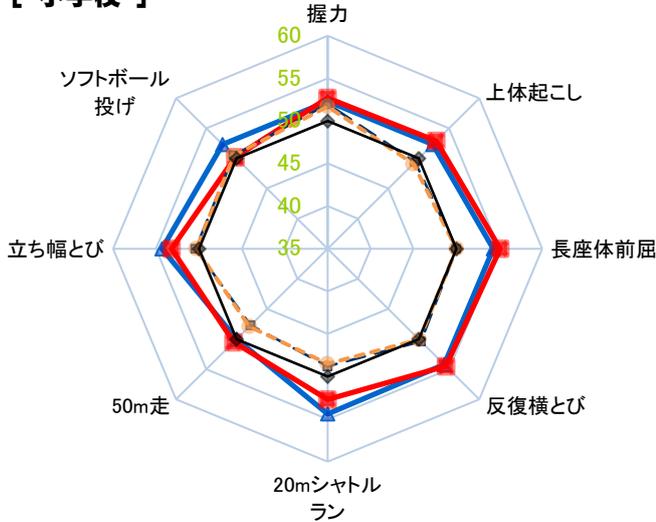
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査等の分析結果を踏まえた、各学校の体力向上プランの検証・改善
- ◎ 地域と連携を図った、運動機会の確保や、運動習慣の定着に向けた取組の推進
- ◎ 「新体力テストの実施方法」をテーマにした恵庭市教育委員会主催の教職員研修会の実施

■ 北広島市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校9校・児童数453名、中学校7校・生徒数477名)

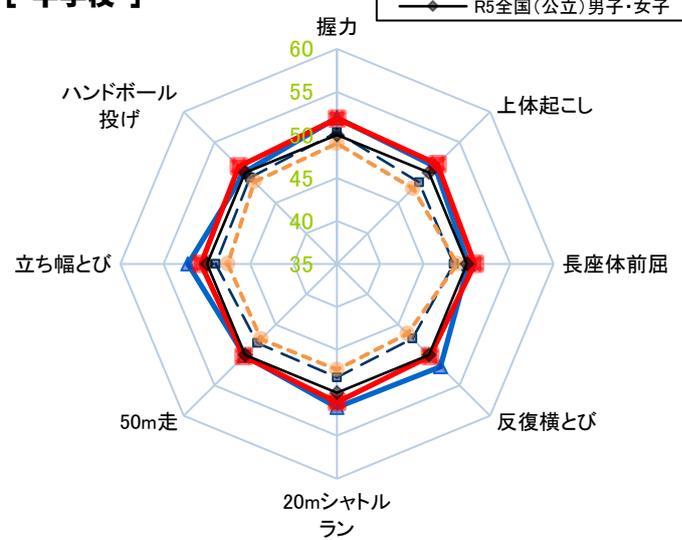
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

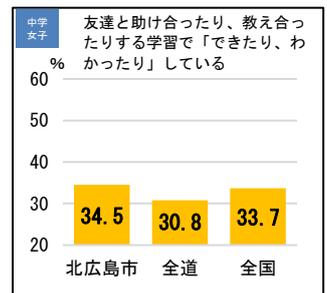
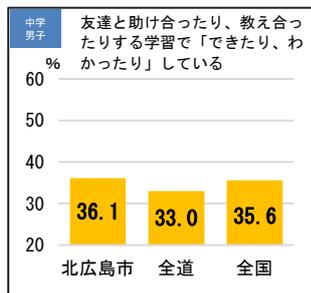
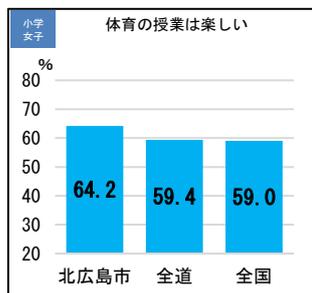
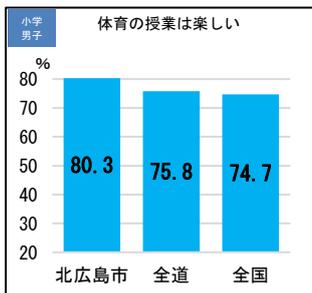
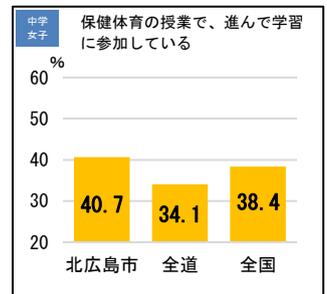
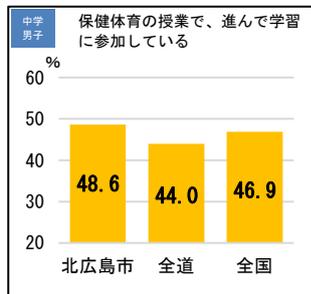
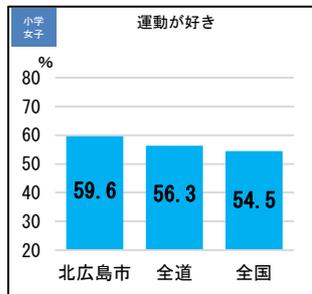
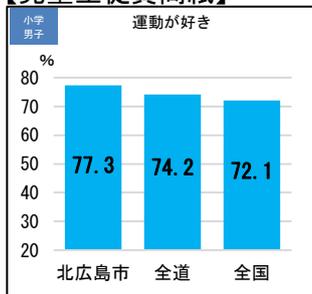
【小学校】



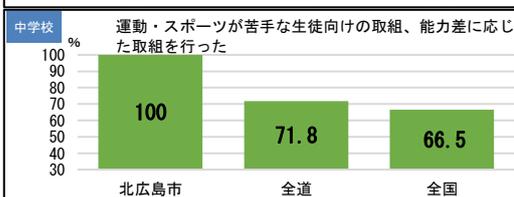
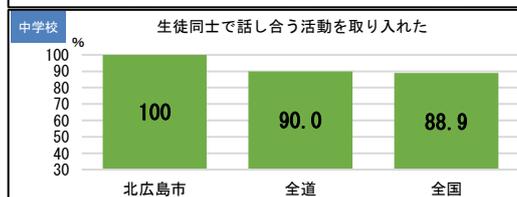
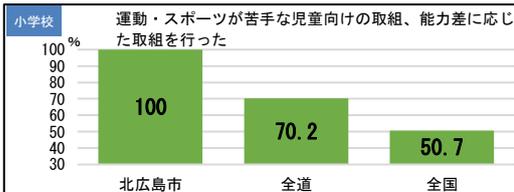
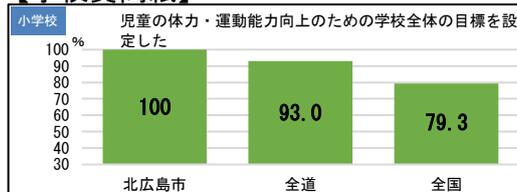
【中学校】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、児童の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定するとともに、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、男女ともに全種目において全国平均を上回るとともに、「運動が好き」「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

<中学校>  
各学校において、生徒同士で話し合う活動を取り入れるとともに、運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、男女ともに全種目において全国平均を上回るとともに、「保健体育の授業で、進んで学習に参加している」「友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で、できたり、わかったりしている」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【北広島市の体力向上策】

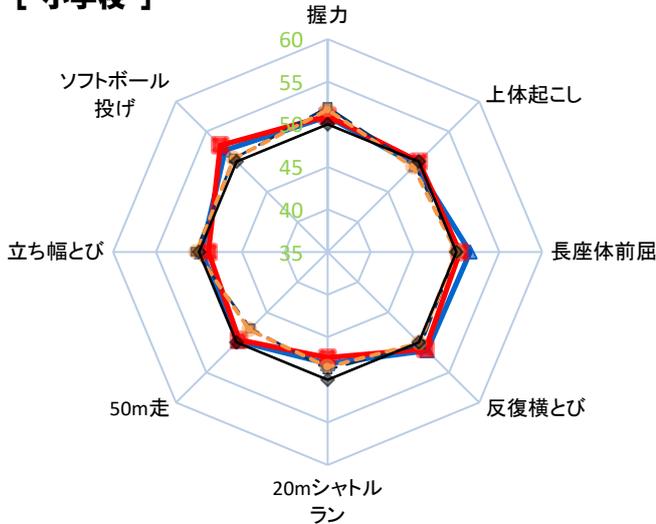
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた体力向上プランの作成と実践
- ◎ 体育科・保健体育科の授業改善や日常における体力づくりの充実
- ◎ 小中一貫教育に基づく、小・中学校が連携した体力向上策の計画的な推進

■ 石狩市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校10校・児童数484名、中学校7校・生徒数428名)

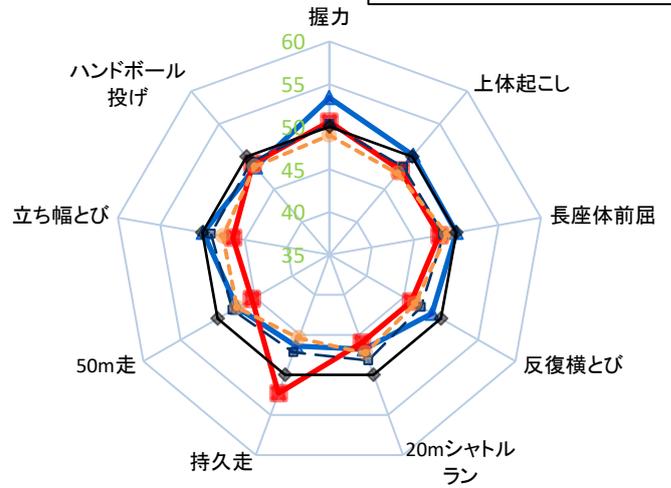
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

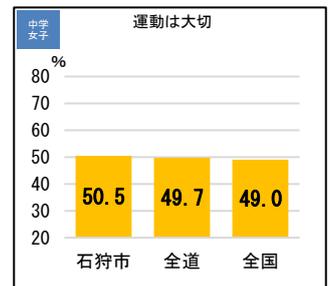
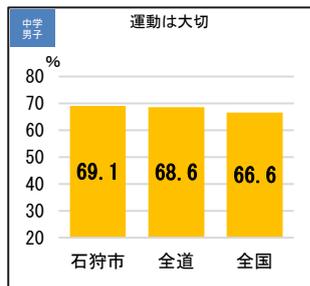
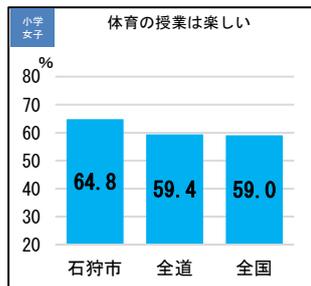
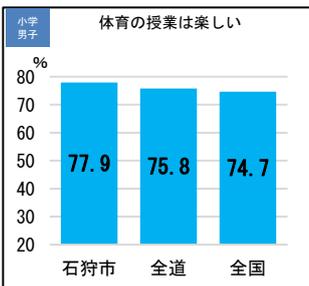
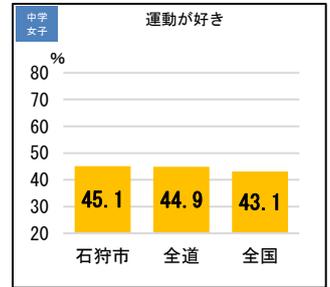
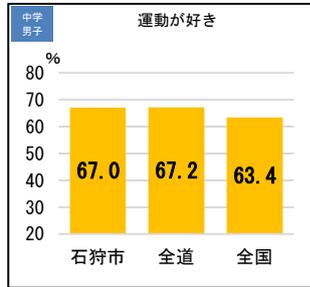
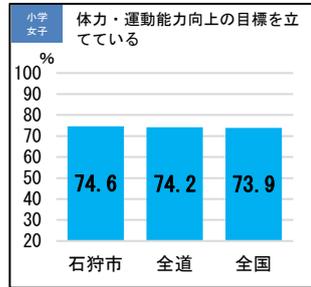
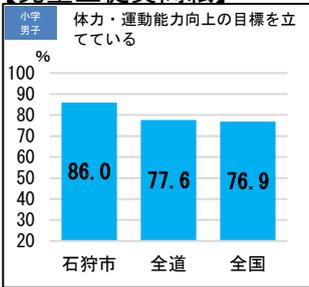
【小学校】



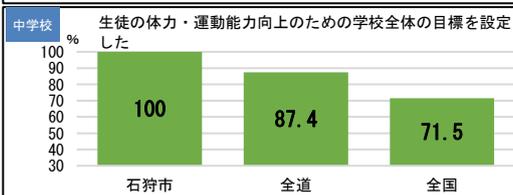
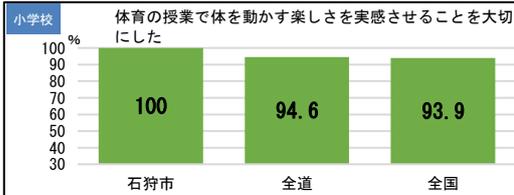
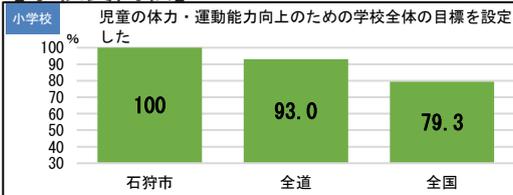
【中学校】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、児童の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定するとともに、体育の授業で体を動かす楽しさを実感させることを大切にしたことにより、「体力・運動能力向上の目標を立てている」「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

<中学校>  
各学校において、生徒の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定するとともに、調査結果を踏まえて、授業改善に取り組んだことにより、「運動が好き」「運動は大切」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【石狩市の体力向上策】

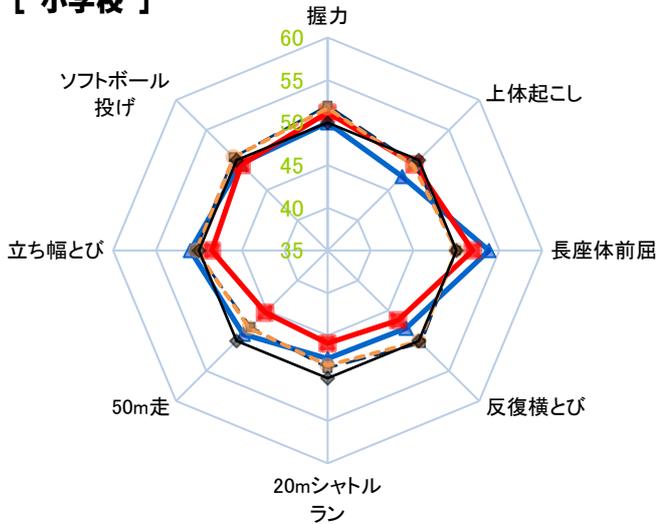
- ◎ 体力・運動能力向上に向けた各学校独自の「体力1校1プラン」の推進
- ◎ 基本的な生活習慣の定着(いしかりふれあいDAY、生活リズムチェックシート等による家庭との連携)

■ 当別町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数80名、中学校2校・生徒数94名)

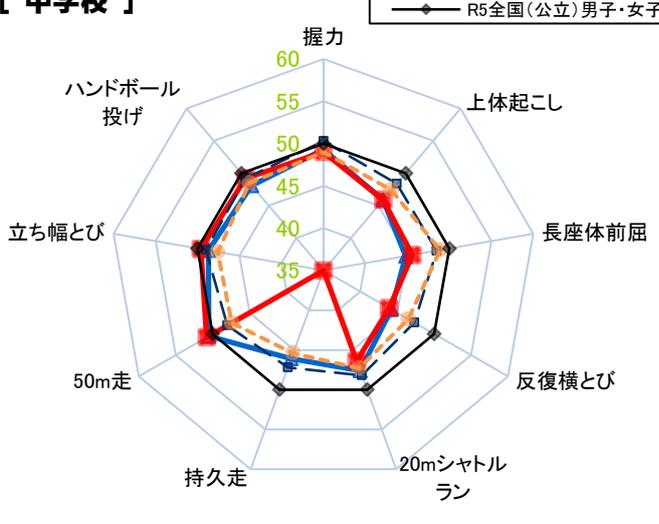
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

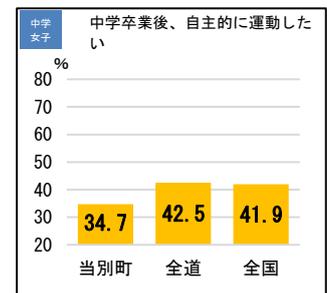
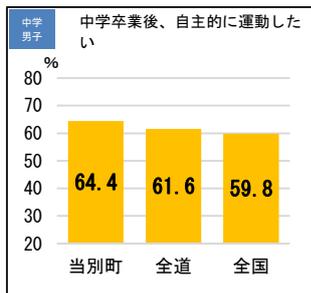
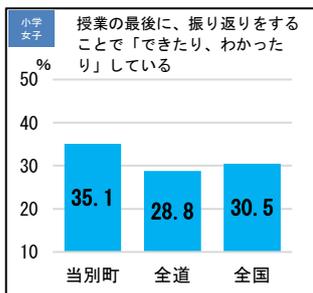
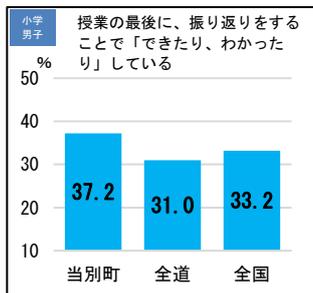
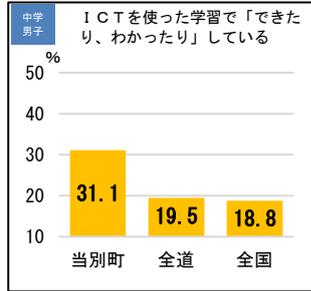
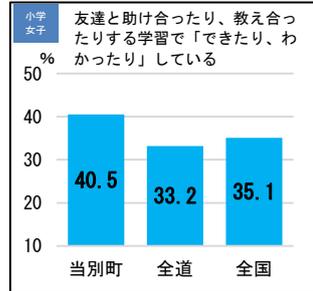
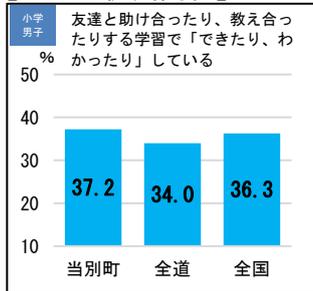
【小学校】



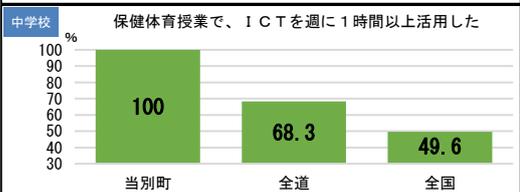
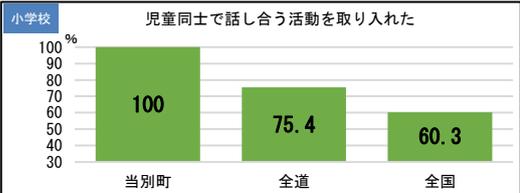
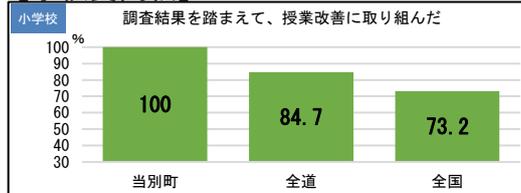
【中学校】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、調査結果を踏まえて、授業改善に取り組み、児童同士で話し合う活動を取り入れたことにより、「友達と助け合ったり、教え合ったりすることでできたり、わかったりしている」「授業の最後に、振り返りをする事でできたりわかったりしている」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

<中学校>  
各学校において、調査結果を踏まえて、授業改善に取り組み、ICTを週に1時間以上活用したことにより、「ICTを使った学習でできたり、わかったりしている」と回答した生徒の割合で「中学卒業後、自主的に運動したい」と回答した男子生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【当別町の体力向上策】

- ◎ 教職員向け研修機会の充実
- ◎ ICTを活用した授業改善の推進
- ◎ 部活動・総合型地域スポーツクラブへの支援
- ◎ 生活習慣改善に向けた家庭への啓発
- ◎ 児童生徒向けスポーツ活動の継続実施

【Webページ】

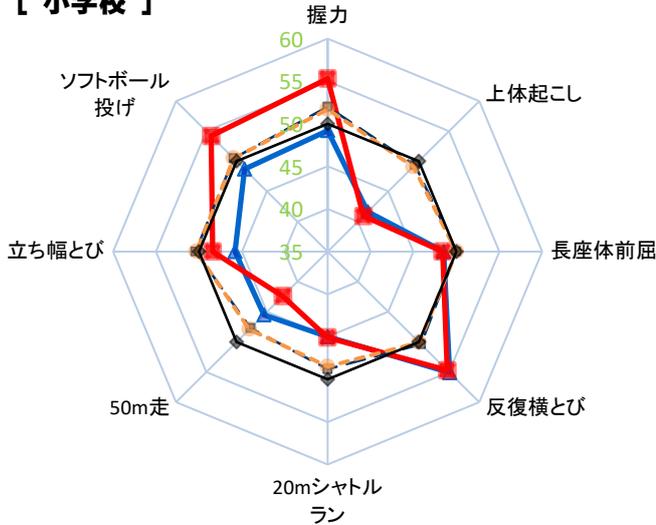


■ 新篠津村内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数22名、中学校1校・生徒数18名)

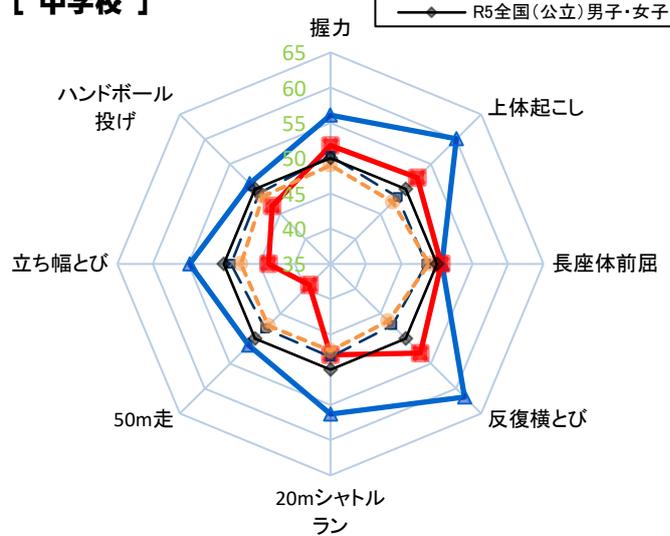
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

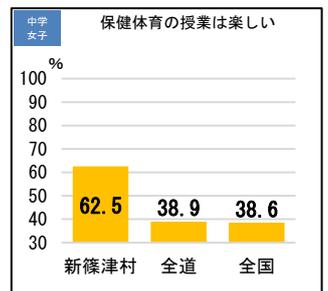
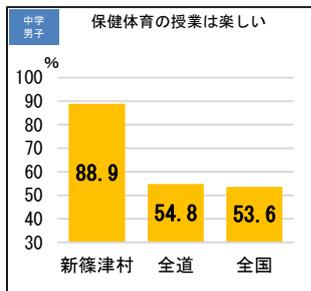
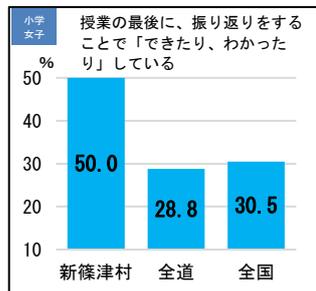
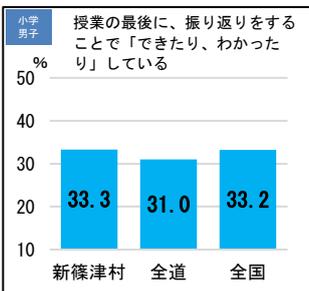
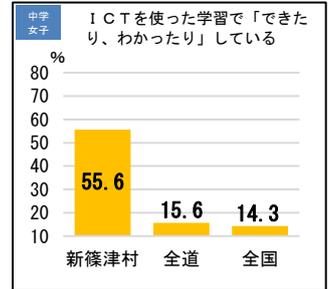
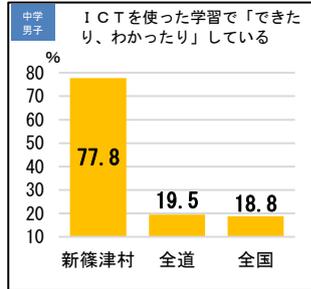
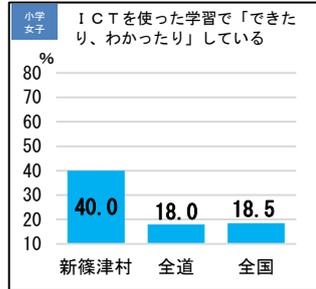
【小学校】



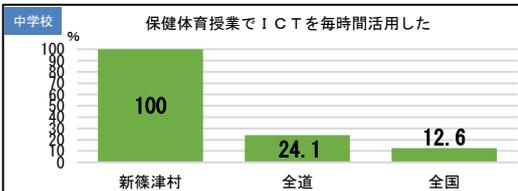
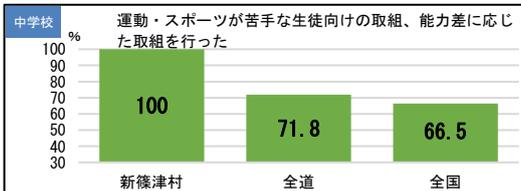
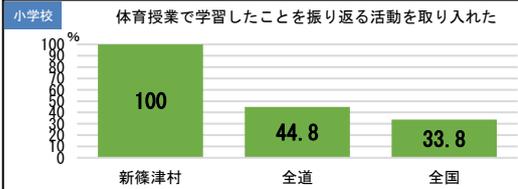
【中学校】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
ICTを毎時間活用するとともに、学習したことを振り返る活動を取り入れたことにより、「ICTを使った学習でできたり、わかったりしている」「授業の最後に、振り返りをする」ことでできたりわかったりしている」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

<中学校>  
運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組を行うとともに、ICTを毎時間活用したことにより、男子が全科目において全国を上回るとともに、「保健体育の授業は楽しい」「ICTを使った学習でできたり、わかったりしている」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【新篠津村の体力向上策】

- ◎ 授業改善の推進及びICTを活用した学習活動の推進
- ◎ 小中一貫教育に基づく、小・中学校が連携した体力向上の取組の推進